

新医学系指针对応「情報公開文書」フォーム

単施設研究用

皮膚プリックテストの手技標準化のための同一被検者内比較研究

1. 研究の対象

同意を得た成人ボランティア 3 人が対象。

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：皮膚プリックテスト(Skin Prick Test 以下 SPT)はアレルギー診療において、手軽で、侵襲も少なく、結果もすぐに判明するなどの理由で有用な検査です。しかし、検査を行うにあたり、適切な部位についての検討はなく、院内での手技の標準化は現状行えていません。本研究は SPT の手技標準化を目的に行います。

研究期間:倫理委員会承認後～2019 年 3 月 31 日

方法:成人ボランティアに対して以下の通りに SPT を行います。

SPT にはバイファケイテッドニードル®とアレルギースクラッチエキス陽性対照液「トリイ」ヒスタミン二塩酸塩®を用い、穿刺については針の跡が残る程度に垂直に圧迫することとします。膨疹径・紅斑径については長径とそれに垂直に交わる径の平均の値とします。

抗アレルギー薬・LTRA・ステロイド薬の内服と前腕に対するステロイド剤の塗布は 3 日前から中止します

検査は以下の 3 段階で行います。

- ① 左右同部位に SPT を行い、膨疹径・紅斑径が同等であるかを評価する
- ② 同側前腕の手首と肘を結んだ ①末梢 1/8 ②末梢 1/4 ③中央部 ④中枢 1/4 ⑤中枢 1/8 に SPT を行い、どこまでが中央と同等に反応するか評価する。
- ③ ②を同じ被検者に対し、検者を変えて複数回行い、膨疹径・紅斑径が同等であるかを評価する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

成人ボランティアを対象とし、対象自身の情報・資料は用いない予定です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて対象者にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名：アレルギー科 研究責任者名：坂井聡

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

E-mail allergy-secretary@cd5.so-net.ne.jp :

公開日 2018 年 08 月 10 日

-----以上-----